



ねえ、お花見日和だって、終末、お天気、絶好の...!!!  
お花見、行きたい行きたい。

...と、ニュースを見て、あみねこたちが騒ぐので、ようし、行くか、2012、桜三昧！

まずどっこいしょ、と、でかけた先は、井の頭公園、全国でも有数の桜の名所。  
池の周りが、桜色の雲。



白鳥、すごい稼働率。手漕ぎボートの方が風情があると思うがなあ。  
アオ君。「おまるがいっぱい浮いてる。」

...うーむ、まあ確かにねえ。



噴水の向こう、このマンション住んでたら、公園が贅沢な庭だなあ。いいなあ。

昔、漫画家の大島弓子さんが住んでたんだって。





水辺の桜って感じがいい。水面に写る桜色。

...記念撮影してたら、後ろから年配の女性が。

「可愛いわね～。ねえ、写真、撮らせてくれる？うちのアルバムに貼りたいわ。」

えへへ、照れ照れ。

今頃、知らないおうちのアルバムに収まってるんだな。



うらうら春爛漫、桜色のお昼寝。

次は、駅で二駅先、ちょっと歩いて、善福寺川へ行こう。



川に辿り着いた途端、ぱっと開ける、桜色の雲の世界。  
延々と続く風景、川にしだれる、みごとな、満開の染井吉野。

あちこちのほどよいスポットは、お花見の老若男女で賑わっている。

さて、我々も。

木の上は、天上世界。

桜色の雲の中、ほのかな花の香り、特等席だよ。





下界では、人間どもが、飲めや歌えやをやっとるのう。



うわあ、ひときわ目を引く、見事な木が！



陽光、という品種なんだって。艶やかだなあ。



染井吉野のほのかなピンクと、陽光の、あでやかな桃の花のようなピンク、木々の新緑、暖かなお日さまに青空。

川のせせらぎ。泳ぐ水鳥、小鳥の囀り。

世界を、のどかに楽しむ、お花見の人々。



春、万歳！



天国～





お昼寝～

あ、そんなところで寝たら、結構風が強いから、危な...



ホラ落ちた～っ！





オレたち渋い年寄り猫は、渋いところで寛ぐのよ。



公園のベンチに猫描いた奴ァ、誰だ！

...ネコたちは、てんでにお花見。



...もちろん、桜は、有名なところだけじゃない、近所にだって素敵に咲いてる。



近所の枝垂れ桜、あふれる桜のシャワー。

実は、マンションの中庭にも、ソメイヨシノ。  
ベランダから見下ろすことだってできる。



朝陽の蜜の最初の一切れを浴びる、シルエット。

...淡い桜色は、ゆっくりと、とろりとした夕焼け色に染まってゆく様子も、いい。  
図書館の窓から、きれいに見えた。



「本選ぶ間、そこで待ってて。」「おう。」ゴロリ。



暮れてくようす、きれいだな。ナマで見たいな。  
じゃあ、バルコニー出してみようか。





な、ちょっとハードボイルドじゃないか？

おうちに帰ったら、おやつは、桜餅ぱんだ。



ふいい、いい香り！

普通の粒あんも、お花見用桜餅ぱんも、どっちもいいね。  
どっちにする？みんなで分けようか？

そうして、夜はやっぱり。



窓の外、夜桜眺めて、お花見麦酒！





いえ～い。

あみねこの日々 あみねこ花見をする

<http://p.booklog.jp/book/48249>

著者 : yamamomon

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/yamamomon/profile>

※あみねこの著作権は、ねこやまさんにあります。

この写真絵本は、ねこやまさんの許可を得てyamamomonが制作、発表しているものです。

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/48249>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/48249>

電子書籍プラットフォーム : ブクログのパブー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社 : 株式会社paperboy&co.